

寒河江校だより

令和4年1月25日

第9号

文責 教頭 森谷

新しい年を迎えて元気に3学期スタート！

大雪にも負けず、元気いっぱい登校した子供たち。みんな揃って3学期をスタートさせることができました。3学期始業式では、3・4年生がそれぞれ新年の抱負を発表し「頑張るぞ！」と掛け声を掛け、他学年の子供たちも「おー！」と張り切っていました。

コロナ禍での短い3学期ではありますが、子供たちが新たな学びを得られ、また、これまで得たことをより深い学びにできるよう、一年間の学習のまとめをしっかりと行っていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、変わらぬ御協力をお願いいたします。

高松小との交流および共同学習

昨年12月末に、高松小2年生が生活科で制作した様々なおもちゃで「あそびランド」を開き、寒河江校1・2年生を招待してくれました。

当日は、高松小のお友達に遊び方を教えてもらいながら、時間一杯楽しく遊び、寒河江校の子供たちは、お土産にももらった手作りの景品やポップコーンの種を嬉しそうに抱えて教室に戻りました。子供たち同士で自然に関わり合っている姿がたくさん見られ、お互いが満足できる交流学习を行うことができました。



ターゲット・ボッチャをしました！

県障がい者ニュースポーツ教室から講師の方を2名お招きし、今回は「床に置いたフラフープの中にボールが多く入ったチームが勝ち」というルールでターゲット・ボッチャを行いました。

体育の時間にも取り組んでいますが、講師の方のお手本でボールがフープに見事に入る様子を見て、「自分も頑張るぞ！」と俄然やる気の出た子供たち。同じチームの友達を応援しながら、フラフープの中をねらってボールを投げたり転がしたりして楽しく活動することができました。



ICTを活用した学習

急速な世の中の変化により、ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進が図られています。コロナ禍での学習保障という点からも、オンライン授業やタブレット端末の活用などが進められておりますが、寒河江校においても、子供たちの実態に合わせて、タブレット端末などを活用した授業を行っています。今回は、その取り組みの一部を御紹介いたします。



感染症対策により、対面でマスクを外しての言葉の学習がなかなかできません。アプリを活用し、口形の写真をタップすると、その語の音声が出る教材をタブレット端末で作成しました。写真は曜日の言い方を学習している様子です。口の形をまねて、その語を声に出して言う学習をしています。



居住地校交流では相手校と、修学旅行先では学校とオンラインでつなぎ、交流を図りました。

その他にも、それぞれの実態やねらいに応じて、読み上げアプリを使って会を進行する、学習の中で何か調べる、写真を撮ってすぐに画面で見る、音楽を聴くなど、タブレット端末を活用して学習しています。